

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

magazine kobekko
august 1966
no, 64

8

神戸っ子 昭和40年1月20日創刊 昭和41年7月15日印刷
通巻64号 昭和41年7月15日印刷



神秘をひめた宝石

ミキモトパール

ながいあいだ

貝のいのちと人の労苦が

いつくしみ育て上げた

永遠の宝石

ミキモトパール

優雅 気品 格調

どんな言葉でも

いい表わす

ことの

できない

神秘の宝石

です



御木本真珠店

大阪支店＝堂島・新大ビル

TEL. 363-0247

神戸店＝三ノ宮・神戸国際会館

TEL. 22-0062

大阪高島屋・阪神百貨店

★本店＝東京・銀座四丁目

これは神戸を愛する人々の手帖です あなたのくらしに楽しい夢をおくる

神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ これは神戸っ子の心の手帖です



ar. m. luku
1966.



本社★神戸<22>2603営業所★東京・名古屋 **トランスグローバル** 特約店★クロス★トーア・ロード<39>1781





跳水

神戸っ子アングル

久保たえ子

〈松蔭女子高校三年水泳部〉

カメラ／春田佳章

書／山路 粹

眼下には静まりかえった水面がとびこむ彼女を待ち受ける。一瞬、十メートルの高さから弧をえがいて水中に消える美しい姿態。プール・サイドからコーチの激しい声がとぶ。関西選手権大会を数日後にひかえて厳しいトレーニングにはげむ選手たちの熱気がこもる大阪プール。

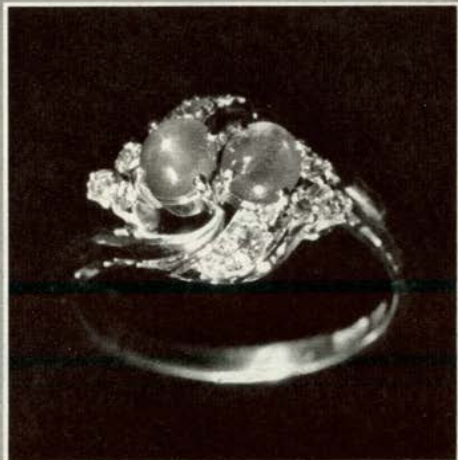
久保たえ子さんは松蔭女子高校三年に在学中の生粋の神戸っ子。とびこみの久保。として鳴らした父・欣治氏の跡をついで、とびこみに若いエネルギーをぶつつける。昨年は関西選手権大会に優勝し、今年の活躍が期待されている関西水泳界のホープ。趣味は？ ときくと「水泳が好きで好きではかのかのことは考えられないワ。水泳を本格的にはじめたのは、中学二年のときからです。」と、はすかしそうに笑う。真黒に陽灼けた顔に白い歯がチラリとかわいく、まだまだあとけなさいの残るセブンティーン。練習の順番を待つ仲間から。おタマ。と声がかかる。合宿中に見つけたすて猫をすべて。おタマ。とよんでかわいがるところからついたアダ名だそう。

Tajima

*** 宝飾店 タジマ ***

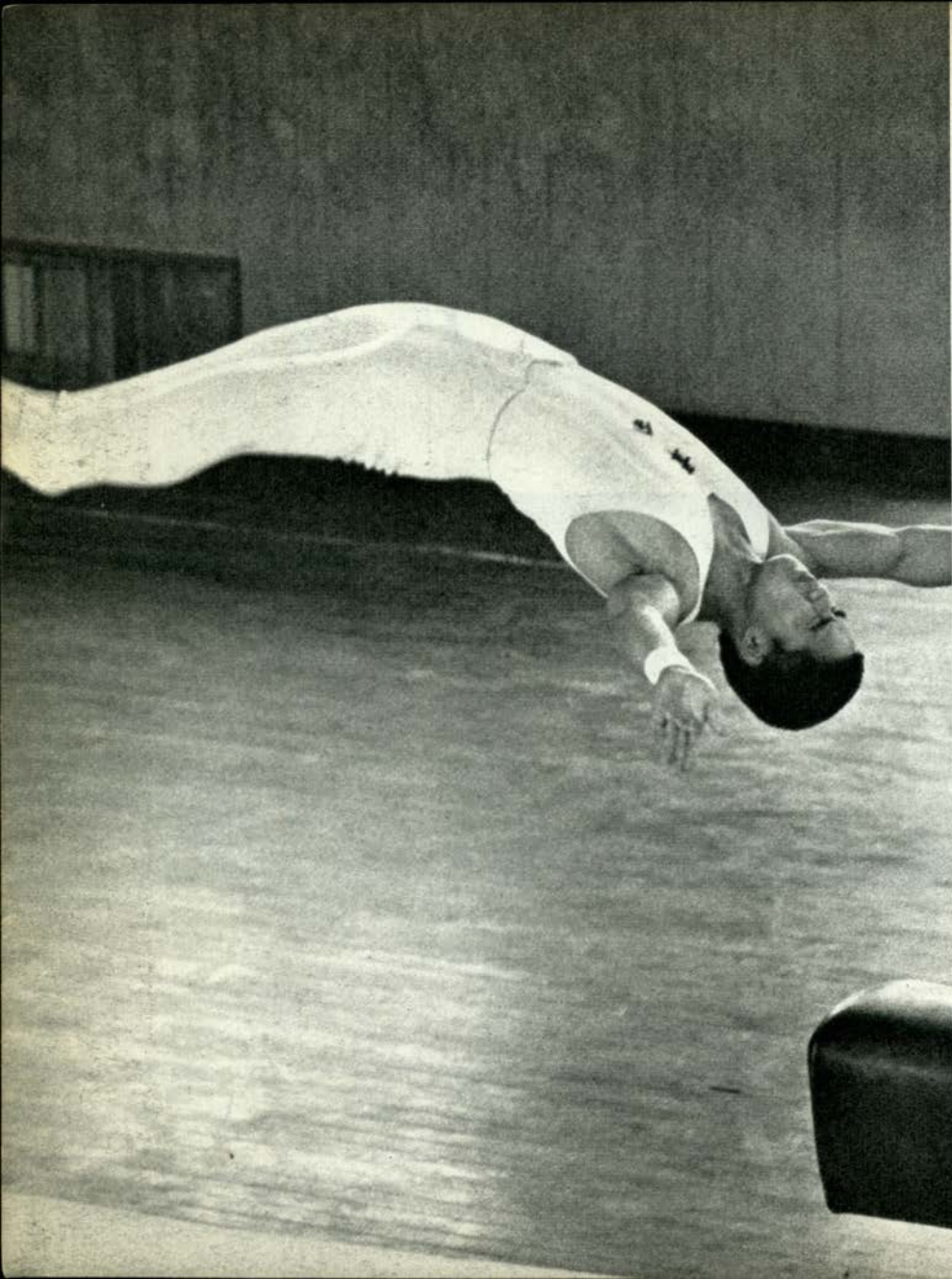


確信をもってタジマの目を選んだ世界の宝石の名品!



ダイヤモンドのことならタジマ/元町通2丁目<山側>TEL ☎ 0387・2552

タジマの特典 当店でお買上げのダイヤ指輪は販売価格で引取り交換をお約束しております



足跳

大 空 富

神戸っ子アングル

カメラ／春田佳章
書／山路 梓

（葦合高校三年生体操部）

六月におこなわれた兵庫県体操選手権大会に団体・個人総合優勝。全日本三位という成績をはこぶ体操の葦合高校。器械体操は激しいスポーツである。厳しい訓練にたえて鍛えぬかれた肉体と、たくましく試験をきりひらいてゆくうちに秘めた斗魂にささえられて、技がはえる。

ここ、葦合高校体育館で練習にはげむ部員は男女25名。顧問として、青春を体操にうちこむ若人たちを見守る末吉先生も同校の出身。かつて器械体操をやっていただけに、後輩にもあたる部員たちにそそぐ視線は厳しきなかにも暖かい愛情がふくまれている。それが敏感に部員にうけとめられて、がちりとチーム・ワークをかたちづくっている。

キャプテンとして部をかためる大空富君（三年生・17才）は今度、みごとに個人総合優勝をなしとげて、団体優勝をもたらす原動力となった。学業もまじめに、温厚な人柄で部員の信望をあつめているお母さん子。運動が好きで音楽をきくのが楽しみだというスポーツ・マン。身長167センチ、体重60キロ、胸囲95センチ。均整のとれた身体の神戸っ子である。

T.

Pearls by Tasaki



あなたに優雅な美しさをそえるタサキパール

田崎真珠

本 社・神戸市灘合区旗塚通6-9
三宮店・神戸新聞会館秀品店内



初夏の空はぬけるよう
に青い。六甲の山々に、
奥池の湖に、ジャムセツ
ションの。聖者が町にや
つて来る。がコダマした。
それは六月十二日の日曜
日のこと。神戸デキシ
ランドジャズクラブ（会
員約三百名）の呼びかけ
で、神戸・大阪のアマチ
ュアバンドに学生バンド
がうちそろって、オール
ニッポン・デキシラ
ンド・ジャズ・フェステ
イバル。を開いたのであ
る。芝生を埋める二千人
の観客は青空の下で、熱
演する若いジャズマンに
拍手を送った。

神戸は昔から右近雅夫
や小曽根実などの、ハー
トウォーマーズ。などが
活躍しており、全国的に
その名をとどろかせてい
た土地柄。現在も、ホツ
ト・ギャング。や、ピツ
グ・デッパーズ。の若い
グループが後に続してい
る。昨年も夏の夜、東遊
園地の噴水の前で演奏し
たが、いかに好評。今
年も八月に野外例会を開
く。音楽好きな神戸っ子
をこれから大いに楽しま
せてくれそうだ。
写真は芦有奥池遊園地で
（本文十六頁をご覧ください）

ある集い

→ 神戸デキシランド ←
ジャズ
クラブ



Murata Pearls

ユニークなデザイン 輝やく気品



*18金プラチナダイヤ入り南洋真珠ブローチ

村田*真珠/銀座山岡*毛皮/舶来婦人服飾



さんちか*レディスタウン・TEL 39-3886-7

8月号目次

Second Cover / 津高和一

3 1 グラビヤ / 神戸の子アングル・跳ぶ

撮影・春田佳章 / 久保たえ子・大空富

7 グラビヤ / ある集い・「コウベ・ディキシランド・ジャズクラブ」

11 わたしの意見 / 吉田正勝

12 随想二題 / われ神戸を愛す / 井上寛造

14 ヨットと風 / 松木哲

神戸の文化をすすめるキャンペーン

16 「世界的な立場に立った美術館を」元永定正

「こんな県立美術館を」伊藤誠

ある集い / その足あと / 末広光夫

21 随想 / 神戸のよき時代・内海重典

23 随想・ビールと原爆 / 古林喜楽

27 随想・六甲の名花あじさい良話 / 室井耕

神戸子対談 / 秋田博正・笹部虎四郎

31 経済ポケットジャーナル / オフィスレディ

33 神戸ドキュメント⑦

神戸少年鑑別所 / 有井基

39 神戸の集いから

40 CINE MA① / 淀川長治

42 KOBE'S Ship Rounge ①きく人 / 玉奥章

46 動物園飼育日記3 / 亀井一成

48 東南アジア学生芸術さくら旅行③ / 福岡康年

51 暮しのバラエティ / ささめ

54 マドモアゼル神戸 / 福富芳美

56 髪 / 西野明

64 実地ルポ / これが六甲縦走だ / 山本吉之助・松岡寛一 / その他

79 KOBE 涼線地帯

80 ING コーナー

83 れんさいマンガ②ベッコ・永井文明

84 神戸遊戯誌⑧水泳 / 青木重雄

86 神戸うまいもん巡礼 ZONE / 赤尾兜子

88 ポケットジャーナル / 花時計 / 百店会だより

93 神戸っ子ひろば

94 異人館物語・連載第二話シームズ事件④小山牧子

104 連載小説第六回 / 兵庫の女・武田繁太郎

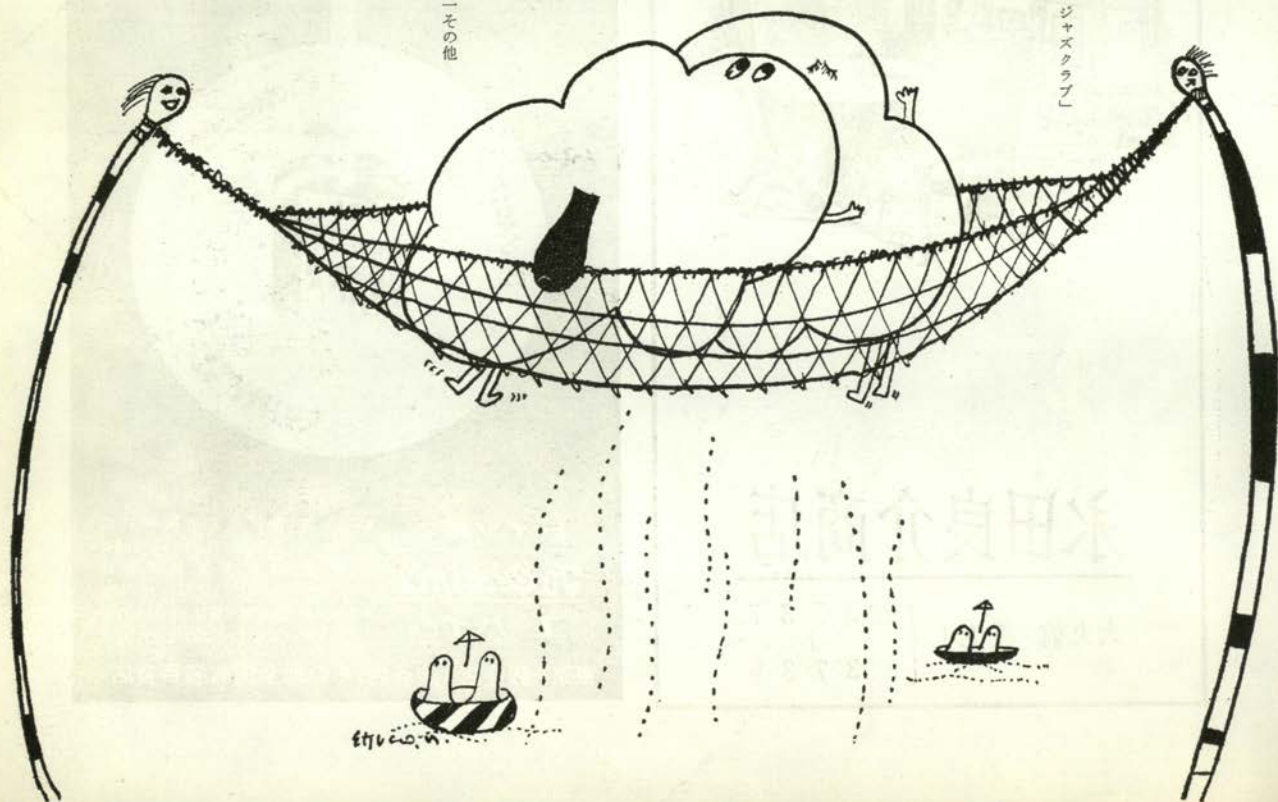
109 PHOTO・POEM おやすみ

詩 / 伊勢田史郎・カメラ / 緒方しげを

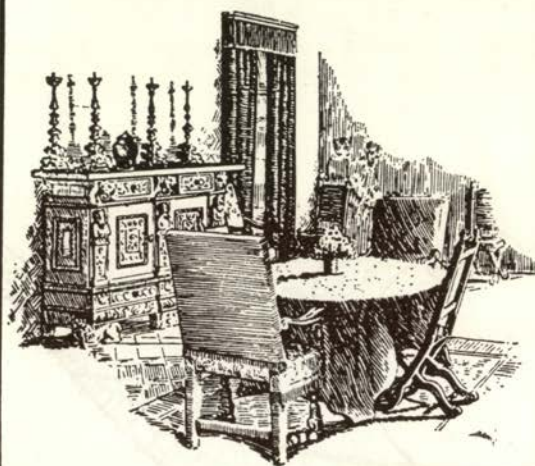
112 グラビヤ / 神戸銘店抄・陳舜臣

表紙 / 小磯良平・カメラ / 米田定蔵・赤松慶三郎

レイアウト / 中辻悦子



家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { 39 3 7 3 7
3 7 3 9 }



をきと菓子の
憩いとツの
飾るイ統
ド伝味の
風味

バウム・クーヘン
ビスケット
キングケーキ
フランクフルター・クランツ



ドイツ菓子 本店 神戸三宮生田神社前
TEL (33) 1694・8064
三宮店 神戸大丸前市電筋
TEL (33) 2101 (39) 3808
ユ-ハイム さんちか店 三宮地下街スイーツタウン
TEL (39) 3 5 3 9

東京/銀座店・渋谷店 その他全国有名百貨店

自分たちの町は
自分たちの手で守ろう



吉田正勝(県警捜査四課長)

——神戸の街はこわいというイメージを持っている人が多いのですが……。

「そうですね。名を知られるのはいいが、麻薬、暴力団と外国にまで悪の街として知られているんです。最近では神戸に寄港せずに大阪へ入港する貨物船が多いと聞いています。それにたいへん残念なのは全国の修学旅行生が神戸をわざわざコースからはずしているのですね。これなども「神戸はこわい」というイメージを持っているからでしょう。現在、ご承知の通り、暴力団対策で全力をあげているのですが、それでも毎日のようにきょうかつ、売春、ケンカなど一般市民にはずいぶん迷惑をかけているわけです。同じやくざでも昔のやくざは完全に世間から見離されていて、新開地を歩くのも軒下をこそそこそと遠慮して歩いたものです。それが最近では道路の真中を待党を組んで、肩で風を切って歩いているんですね。彼らは「組」という背景があるからそれができるのです。戦時中、やくざ小説が国家から奨励されたり、最近、映画でも無責任な映画が多いこともやくざがはびこる原因のひとつです。彼らはまるで英雄気取なんですね。けしからんことです。実際の彼らは毎日世間の人達の目とか警察の手から逃れようとビクビクして生活しているのです。ですから世の中の人たちも今より以上に暴力団というものをもっとよく知ってもらいたいし、暴力団の組織に入っている人たちにも、それでは生活ができないんだということを早く悟ってほしいものです」

——市民に一番望まれることは？

「神戸の人は人がいいというか、妥協性があるというのかよくわかりませんが、昔ながらに仁義を切ったり、親分子分のさかずきを交わしたりする風習が温存されている。今やナンセンスですよ。市民一人一人がそのことを認識して、被害を受けた場合には、いち早く警察に連絡してもらおうようお願いします。自分たちの町は自分たちの手で守ろう——という気持を持っていたら、神戸の町から悪の色彩をなくすようにつとめたいと考えています」

随	想
二	題



カットはハイウエイのマッチ小出先生の絵／井上覺造

われ

神戸を

愛す

井上 覺 造

二科会理事

明治は遠くなりにけりというのは当然で、そろそろ昭和も遙かになりにつけりと言わねばならなかった。というのは話は昭和元年の頃から始まる。つまり僕が旧神戸高商在学中にはビール小瓶一本がスッキリ飲めなかったことや紅茶

にコニヤックをタラタラとたらしもらってホロリとした。つまり饑みたいな今の私の酒量とはどう考えてもバランスがとれない話の、その根源地は上筒井にあったバーアカデミー。むつかしく書いて酒肆翰林院でのことである。バーの調度品はどっしりしていてガラス器など輝くばかりに美しく磨かれていた。

神戸高商などは野暮な人間の集合だが僕のように育ちのいいのはここに集った。高商とは対照的な自由人の集りみたいに見える関西学院はよくここに飲みに来ていた。不思議にも今もって生存している人はごくまれで詩人の竹中郁

や朝日放送の山下良三ぐらいで高商の方は東京へ散って行ったので、これまたまれということになった。このバーは今も加納町三丁目に存在していること天下周知のことである。東京からでもこへ飲みに来るのである。バーのついでにもう一つあげておくと終戦後三宮神社東隣に小さいバーギルビーが出来たがやがてトアロードのそばの大きな店へ移った。すぐに大きくなるということは良心的で本格派のバーだということで、今は満潮干潮の現象よろしく常連が集り散りまた集ってくる。活気のある店の一つと言える。

さて食べる方は多くは谷崎潤一郎先生の御指導にあづかって知った店も今や消えたり、あるいは活発に営業している店などさまざまだが、洋食ではハイウエイが一番うまいのではないかと思う。ここで使っているマッチはわが師小出楠重先生のもので、先生が昭和六年に亡くなられたことを思えば古い店である。支那料理では博愛酒家というのが南京町にあったが汚いこと天下一品だったのがうまいことも天下一品だった。鼠が足元を走り廻っていて靴がよくよごれた。谷崎先生のお供でここへは随分御馳走になったが今や無し。

さて最後にうなぎの糸平。あま

りにも有名だが彼が戦時中芦屋で素人料理のうなぎを食わしていた頃からの知り合いで現在でも食べに行っているのは僕一人だ。

糸平は文化人の巢のようなものだがおやじの人柄が最高だというところに原因があると思う。芦屋の暗い電灯の下で銀めしを食わしてもらった頃のことを夢のやうに思い出される。神戸というところはいいところ。思い出はつきない。

ヨット

と風

松木

哲

神戸商船大学助教授

澄み切った空に輝く太陽、青い海に浮ぶ三角の白帆、一度乗って見たいな。ヨットと聞くとこんなことを思い浮べるのが世間一般の相場らしいが、実際にヨットに乗っている者に言わすとこれはどうも大分見当違いのような気がする。大体ヨットは風で走るものだからいってもどんな風でもいいのではなくて、具合よく走れる風の強さは案外限られている。普通に見かける貸ヨットや小型のレース艇ではまづ8m位まで、それ以上で

は少しのミスで簡単に転覆、15mともなればもうお手上げだ。大型のクルーザーならもう少し強い風まで頑張れるが、これも20mをこせばよほど大きな艇でなければ何とか動けるだけの話で、頭からしぶきを浴びせられ木の葉の如く振り廻されて、およそ快適なんて言えたものではない。所が風の神様はヨットなんかは気にかけていらつしやらないらしく丁度いい加減の風はなかなかお恵みくださらないことになっている。特に夏の瀬戸内海は風が弱く、学生のレースがこんな日にでもあたろうものならカンカン照りの中で汗水たらして苦心しても一向艇は走らず、頭に来た連中が怒鳴り合うばかりの有様で他人が見ればまったく滑稽なことだろうと思うが、幸い海の上なので余り人様には見られないで済んでいる。ところが一旦夕立でも来れば一陣の突風とともに貸ヨットあたりはバタバタとなぎ倒され海水浴場は大騒ぎになる。

これがクルーザーともなればもつとひどいもので、岸から離れているだけにそう簡単には根拠地には帰れない。あの広い太平洋でも結構風がまったくななくなることがあり、しかも波はなかなか消えてくれないから暑い上に艇はゆすられるで完全に参ってしまふ。一方

風が少し強くなれば海が広いだけに半日も風が吹き続けばもう立派な波に成長し散々な目にあわされる。こうなればどこかの港へ逃げこむ一手だが、ここのタイミングがなかなか難しく逃げそこねたが最後、たつぷりとお見舞されてしまふ。

という次第でヨットにあこがれている方々は美しい写真でも眺めて楽しんでおかれることをおすすめしたい。その方が折角の美しいイメージを無残に打くだかれることもないし、第一暑い目にも会わず日焼けの心配もしないですむではないか。岸から眺めて気持ちよく走っているヨットも乗っている奴は青い顔で必死にしがみついているのかも知れないし、静かに浮ぶ白帆の下ではたいいてい油汗を流しながら風の神をうらんでいるものだ。こんなことを書いて見ても「お前船酔いに来たのか」とからかわれながら性こりもなくヨットに乗りに来る救い難い連中が次々に現われて来るし、かくいう私自身誰やらはこの夏とこやらへ出かける予定だそうなの、といった噂などを耳にするとかとなくソワソワし始めたりしてまことにダラシない。どうも悪女の深情けとでもいおうか困った道楽に取り付かれたものだと思っている。

★神戸の文化をすすめる
キャンペーン

世界的な立場に たった美術館を

元 永 定 正 洋画具体美術

美術館が出来るということでは、美術家や美術愛好家たちが色めきただけだ。しかしそれぞれの美術館に対する構想はひどく手前勝手なものであるに違いない。だから当事者はみんなが満足出来る美術館、すべての人に愛される美術館などと無難なイメージを浮べて美術館建立の基礎的な考えにすることだろうが、これが大変な間違いで大きな落とし穴になる。果してそんな美術館が出来るだろうか？と反問するまでもなく全く不可能なことで大衆に媚びた不潔な考えだ。

八方美人という言葉は例にとつて考えてみると、八方美人だからたよりない、商売柄八方美人である、八方美人で中身がない、八方美人で信用出来ない、などの言葉のもっている真実がないという裏付けがいくらでも考えられる。真実を追究して視覚的に定着した美術品を並べる美術館をつくる最初の考えがもしこのようなものであったら立派な美術館が出来るの

ぞみは不可能である。またみんなが満足出来るという八方美人な考えでは古い歴史を継承することも新しい問題にとりこむことも出来るはずがない。美術館の構想は絶対かたよつたものでなければならぬ。世界の古い伝統のある美術館も出発の頃はその前代の新しい作品ばかりを集めたから伝統として残っているのかも知れない、やはり新しく出来る現代美術館はもっとも新しいところに線を引くべきである。

今、世界の現象として新しいものを上げるとニューヨークの今年の流行はトップアートらしい、その前はオブチカルアート、その前はポップアート、その前はネオ・ダダでその前はアンホルメル、ここ六年の間にめまぐるしく世界の流行は変わって行っている。そのような運動や流行に関係なしに不思議な作品も生れている、もっとも新しい美術作品は美術作品らしからぬ顔をして生れて来るものであるが、はつきりいつてまづこのわけのわからない作品群から美術館が決定した一流品を選らんで美術館のコレクションにすべきものだ。

新しい一流品は古いものより安価であるし、時代の古典となる現代の定着された考えを集めることは、勿論現在に密着することでは

々の次の時代に残さねばならない義務でもある、しかし神戸に出来るからといって間違っても地方性を持つてはならない。それでこの美術館はまづ地方の作家に偏重せず世界的な立場にたつて新しい美術の問題を考えることの出来る人材を集めて評議委員を構成することだ。展覧会は前記の新しい世界の美術品を購入して常陳する、税金を納めている市民だとか県民だとかの問題を一さい棚にあげて、常に新しい問題をやらんだ企画展を行うこと、何度ものべたように地方に出来たから地方的だという考えかたは現代美術館にとつてはナンセンスである、市民ギャラリーは役所の一部でも使つて別につくるべきだ、大きくても小さくても世界一流の考えでつらぬくことが結局市民にも満足にあたえることになる、新しい歴史はいつもかたよつた少数の人々によつてつくられていてことを忘れてはならない、一流の新しくかたよつた考えかたこそ人類の進化を推進してゆく強力なスクリーンである。



こんな

県立美術館を……

伊藤 誠

神戸新聞学芸部次長

終戦直後、神戸市復興の青写真に組み入れられながら結局はお流れになってしまい、兵庫県公立美術館設置問題は、今度やっと県にその準備委員会のようなものが発足するまで、一体何度流産したことだろう。どれほどの技倆を持った助産婦さんかはよく知らないが、せっかく額を集めてかかるからには、今度こそは無事立派な赤ん坊の産ぶ声を聞かしてほしいものである。

さて、以下は外野席からの声――まず、その内容だが、博物館的であるよりは、近代美術館的であってほしい。個人のものを含めれば、県下にも美術館はいくつかある。しかし、そのほとんどが前者の傾向であり、戦後二十二年間にわたって叫び続けられてきた待望の声が、大体会者のものへ向けてであったからだ。

もっとも、容れものを作るよりも中味をそろえる方が先決だ、という声もある。所蔵品を持たぬ美術館は、全くの所貧相限らない。しかし、容れものがなくて、たま

さか中味が少々集まっていても、結局は陳列会場で苦勞するのがオチだ。容れものがないための悲劇は、県下の某コレクターの西洋現代作家の名品数点が、ついこの間、東京の西洋美術館へさっさと寄贈されてしまったというような例でも明らかのように、作品を地元へ定着させる根拠を奪ってしまったりする。

両方一度にかなえば、こんなうれしいことはないけれど、まずどちらから、ということなら、所蔵の第一号は金山さんの作品群もあることだし、今の段階では容れ物に力を注ぐべきだろう。

展覧会なら当分幾らでも考えられることでもあり容れものが出来れば、中味を集める方法もいろいろと出てくるはずだ。予算を計上して館自体が定期的に作品購入を行なうのはもちろんだが、兵庫県にゆかりの作家から寄贈もしくは安価提供を受ける工夫もしてもいいのではないか。京都市美術館では時々、館所有の作品でもって「京都画壇の流れ」展などを開いたりするが、その作品の大部分は作家の郷土意識によって提供されたものだといっている、熱意さえあれば、兵庫県だって可能はずだ。

場所は都心、もしくは出来るだ

け都心に近い所。お隣りの大阪天王寺美術館のあの不便さは、美術館や美術ファンなら先刻ご承知のこと。

サラリーマンやBGが、昼の休憩時間にでも、ちよつとのぞきに行けるぐらいの所にあつてほしい。

冷暖房、照明その他陳列設備に関しては、紙数もないことだし、可能な限り新しい設備ということで省かしていただくが、単に作品陳列の場であるだけでなく、より積極的に市民・県民と美術を結びつけるための機能を整えてもらいたい。

たとえば、画集やら美学書などをそろえた美術図書館(室)の併設。あるいは国立近代美術館や各国領事館などとのタイアップによるフィルム・ライブラリーの活動。講演会やら小集會室を作ることはいうまでもない。

ともかく「美術」と名のつくことなら何でも可能というドン欲さがほしいのである。兵庫県なら、神戸市なら、それが出来ると思いたい。



★ある集い
その足あと



神戸の

デイキシ

仲間たち

末広 光 夫

神戸の昔からのデイキシラン
ド・ジャズ・ファンの中で右近雅
夫といえ、まず知らぬものはない
だろう。いや神戸ばかりでな
く、彼の名は全国的にも可成り知
られた伝説的なものであった。

彼は関西学院大学時代からトラ
ンベツトをもって日本最初の学生
たちによるデイキシランド・バ
ンドを組織し、また卒業して社会
人になってからも学生時代の仲間
たちを集めてオリジナル・デイキ
シランド・ハートウオーマーズ
というグループのリーダーとして
活躍していた。

現在とはともかく、当時、つまり
今から十五年前程は、ブルースの
ハートをもって吹けるトランベツ
ターは、プロ、アマを通じて他に
はまずいなかった。それだけにデ
イキシにかける情熱は大変なも
ので、私なんかも随分彼にハッパ
をかけられたものだ。

その彼が昭和三十一年の夏、一

家と共にブラジルに移民すること
になり、お別れコンサートが神戸
の海員会館で開かれたときのあの
熱演と、そして日本を離れる別れ
の曲として彼の書いた「十五分間
のドライブ」を歌いながらの彼の
眼に光るものをみたあのときの何
んともいえない感動は今も忘れら
れない。

あれからもう十年。よくファン
の人から「右近さんはどうしてい
ますか」とかハートウオーマーズ
の近況をきかれるが、右近君はプ
ラジルのサンパウロにあって商社
を経営し、すこぶる景気がいいそ
うだが、やはりジャズへの情熱は
絶ちがたく、向うでも仲間を集め
てやっているときどき便りをし
てくれる。またのこされたハート
ウオーマーズも、右近君のあとに
これまた彼に劣らぬ素晴らしいトラ
ンベツトが加わって、それぞれい
いオヤジになっても相変らず週一
回みんなが集ってジャズを愉しん
でやっている。

ところで現在この神戸には約三
〇〇人の会員を擁する神戸デイキ
シランド・ジャズ・クラブがあ
り、このクラブに所属しているア
マチュア・バンドがこの二、三年
程前から活発に動きだしてきた。
その名を「ホット・ギヤング」に
「ビッグ・ディツパーズ」という
二つのグループだが、デイキシ

への情熱はかつてのハートウオー
マーズ以上だし、腕も相当なもの
だ。毎月一回の定期演奏会のため
に週一度勤めが終ってから練習場
にかけつけてバンをかじりながら
の練習ぶりは涙ぐましいものだ。

彼等はいらない。「僕たちが
学生の頃きいたあのハートウオー
マーズの演奏の感激を今度は僕た
ちが若い人たちに伝えようと今み
んな頑張っているんです」と。こ
の言葉には私も「よし、僕もひと
肌脱ごう」という気持ちになっ
た。その一つのあらわれが六月十
二日芦有奥池遊園地で開かれた
「オール・ニッポン・デイキシ
ランド・ジャズ・フェスティバ
ル」だった。神戸、大阪のアマチ
ュア・バンドに学生のバンドが入
れかわり立ちかわり熱演を披露す
れば、芝生を埋める観客も大いに
湧いた。これに力づけられ僕はま
た来年も、いや将来ずっとこのゼ
ニにならないプロデューサーの仕
事で駆けずりまわってやろうと愉
しみにしている。何しろ神戸には
ハートウオーマーズの後ににつづく
若いグループがあるのだから。

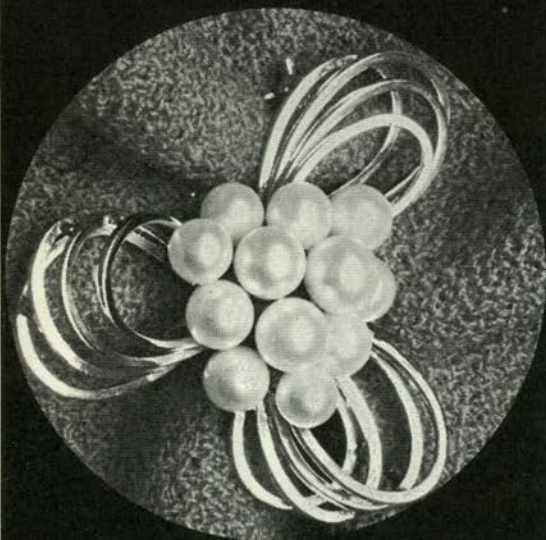
△筆者は音楽プロデューサー▽

「神戸デイキシランド・ジャズ・クラブ」
の例会は、毎月、第三、若しくは第四月曜日の
夜六時半から神戸歯科医師会館で行ってい
ます。入場は無料。但し、八月は、神戸東遊
園地噴水サイドで野外例会の予定。

△グラビヤ7頁参照▽

Kitamura Pearls

世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL 33 0072
オリエンタルホテル店 33 8111 EXT. 331
東京：スキヤ橋店 TEL (571) 8032

どこにもない味

ヒロタのシューアイスクリーム

三つの味誕生

ストロベリー

チョコレート

バニラ



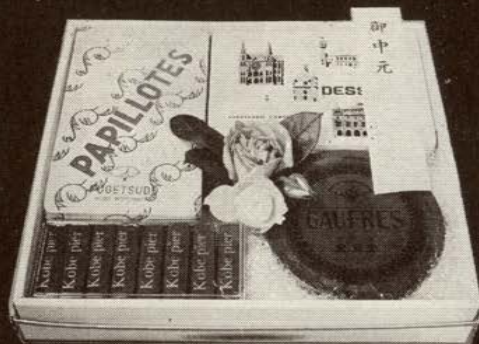
洋菓子の
ヒロタ

元町店・三宮店・三宮秀品店

⊕ お中元に

まごころ たくした 贈りもの

ゴ ー フ ル
ク ッ キ ー ズ
パ ピ ョ ッ ト
ゴ ー フ ル セ ャ ッ ト



神戸にそだって 70年

⊕ 風月堂

京阪神有名百貨店直売
東京地方発送承り／神戸市内
無料配達／ぜひご利用下さい

本店／元町3 <39> 2412～5
さんちか店／スイーツタウン<39>3455



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106